

令和元年
台風第19号に関する問題点等の
アンケート調査報告書



令和2年2月



一般社団法人

群馬県建設業協会

The Associated General Contractors of GUNMA



目次

1. 調査概要-----	P1
2. 各社における災害対応時の体制について-----	P1
3. 現場の対応について-----	P4
4. ツイッター（ぐんケン見張るくん）について-----	P6
5. 記述意見一覧-----	P8

令和元年 台風第19号に関する問題点等のアンケート調査結果

令和2年2月13日

令和元年10月に上陸し大きな被害が発生した台風第19号について、現場で対応する人員や資機材の過不足、また、各機関との協定に基づく対応依頼やその連絡体制と情報伝達等について検証するため、アンケートを実施しました。

1. 調査概要

調査期間 令和2年1月24日～2月4日
調査対象 一般社団法人群馬県建設業協会 本部会員 275社（全社）
回答社数 225社
回答率 81.8%

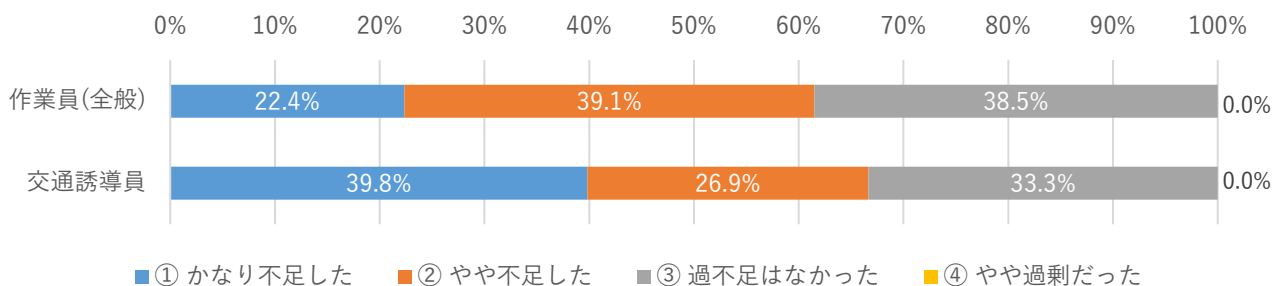
【回答数の集計について】

各設問の集計とグラフでは「該当なし」を選んだ社数は除外しており、設問毎に回答の合計数が異なります。なお「該当なし」とは、災害対応がなかった、もしくは協定の締結が(機関によって)ない場合の選択となります。

2. 各社における災害対応時の体制について

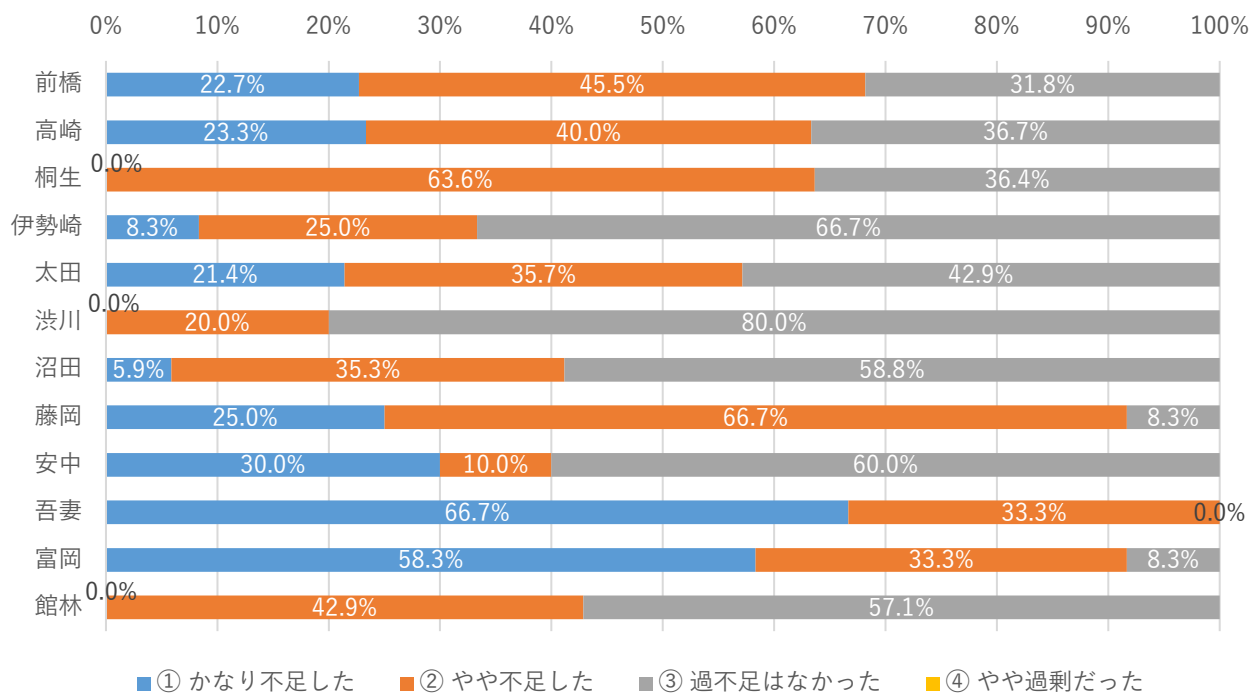
問1-1 人員の確保について伺います。以下のそれぞれにお答えください。

選択項目	作業員(全般)		交通誘導員	
① かなり不足した	36	22.4%	43	39.8%
② やや不足した	63	39.1%	29	26.9%
③ 過不足はなかった	62	38.5%	36	33.3%
④ やや過剰だった	0	0.0%	0	0.0%
計	161	100.0%	108	100.0%
⑤ 該当なし	64	—	117	—

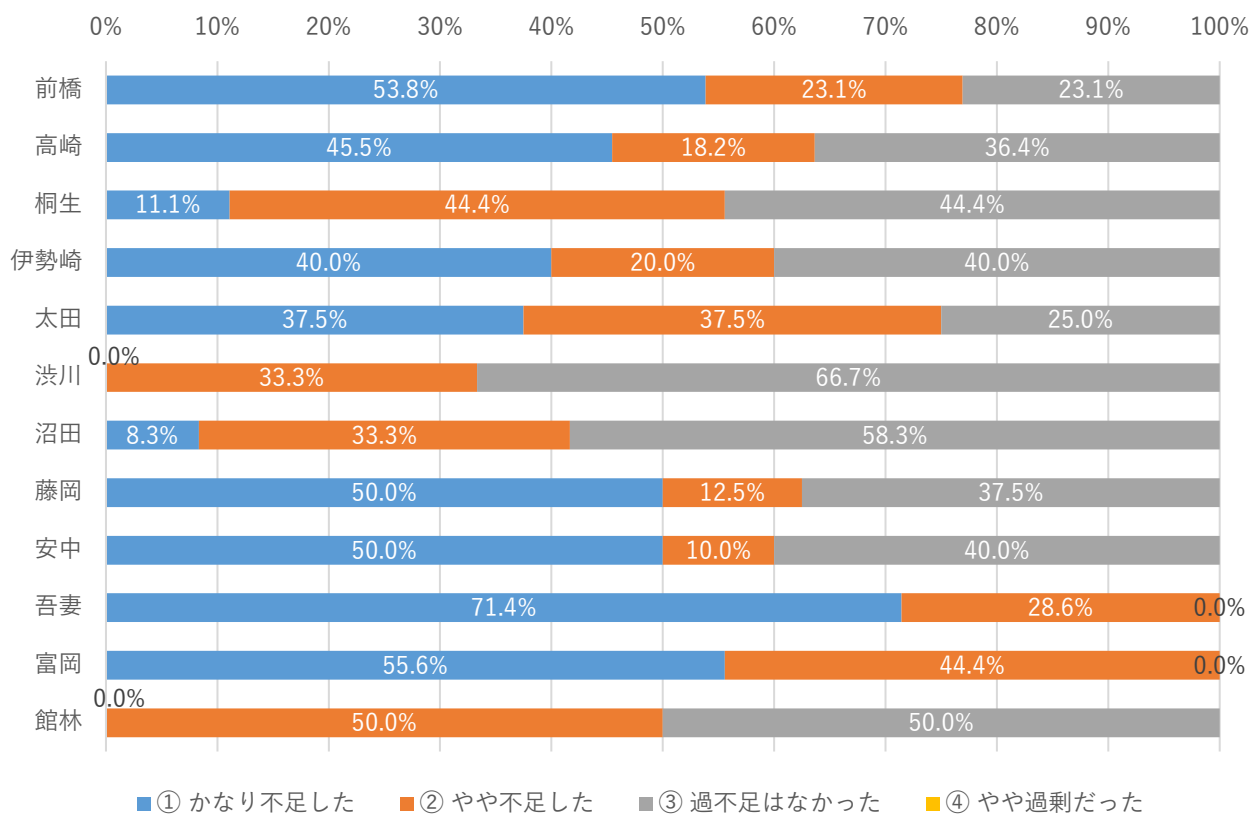


災害の規模によって異なるが、被害の大きい地域では作業員と交通誘導員共に不足したケースが目立ち、特に交通誘導員は常時不足しており、職員や作業員が対応したケースも多かった。

作業員(全般) 支部別



交通誘導員 支部別



作業員と交通誘導員共に、被害が大きかった吾妻支部と富岡支部が「かなり不足した」「やや不足した」と回答した割合が大きかった。

※割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計の表記が必ずしも100.0%とはなりません。

問1-2 人員の確保に関する問題点やご意見をご記入ください

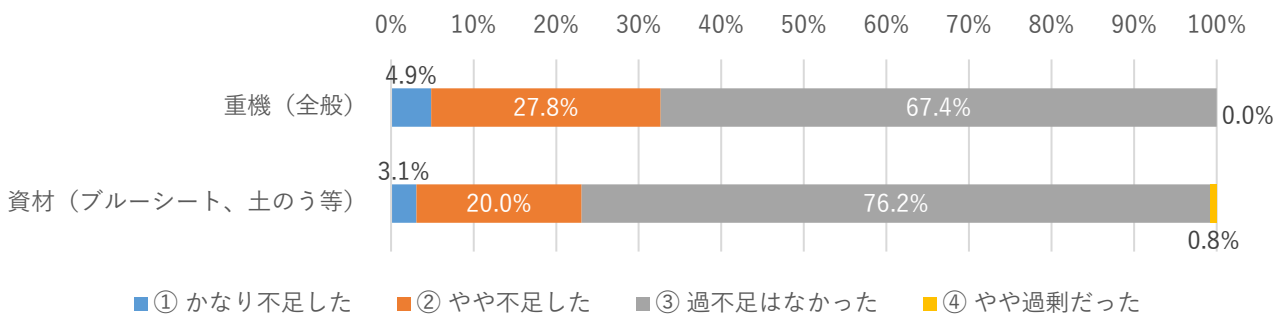
主な意見（意見は P8 参照）

- ・ 施工中の現場を休工しての対応になるので長期対応は困る。
- ・ 突発的に多方面で発生したので、対応の優先順位付に苦労した。
- ・ 土曜日の夜間であった上に、各所で道路冠水等があったため、作業員の到着までに時間がかかった。
- ・ 交通誘導員は普通作業員で対応した。
- ・ 県と警備会社とで緊急時の協定を結んではどうでしょうか。

問2-1 資機材の確保について伺います。以下のそれぞれにお答えください。

選択項目	重機（全般）		資材（ブルーシート、土のう等）	
	社数	割合	社数	割合
① かなり不足した	7	4.9%	4	3.1%
② やや不足した	40	27.8%	26	20.0%
③ 過不足はなかった	97	67.4%	99	76.2%
④ やや過剰だった	0	0.0%	1	0.8%
計	144	100.1%	130	100.1%
⑤ 該当なし	81	—	95	—

※割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計の表記が必ずしも100.0%とはなりません。



重機と資材のどちらも過不足はなかったと回答した会社が多いが、自社で保有する機械が多い場合は対応できたが、リース等だと難しいとする意見もあった。

問2-2 資機材の確保に関する問題点やご意見をご記入ください。

主な意見（意見は P9 参照）

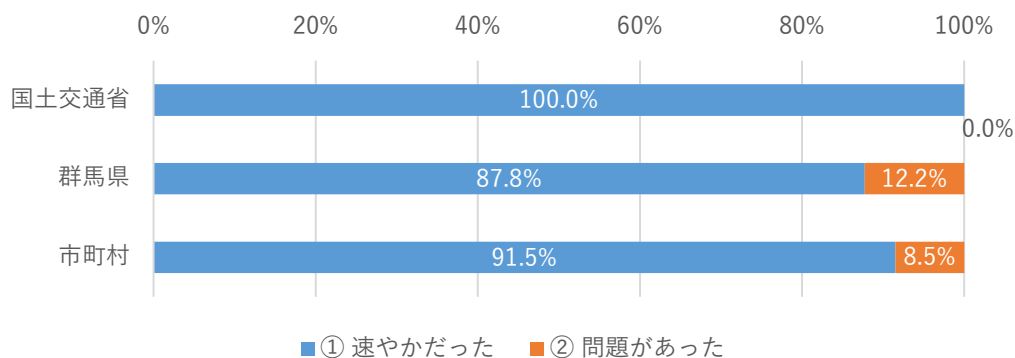
- ・ 自社保有の重機及びオペレーターで何とか対応できたが、他の業者をお願いする事になっていたら、かなり苦労したと思う。
- ・ 通行止めの場合自社所有の看板・バリケード等を設置したが、通行止め箇所が多くなると対応が難しい。
- ・ 運搬経路の道路冠水等により、時間がかかった。
- ・ 協会が業者と提携を組んだので、必要数の確保は楽になったと思う。

3. 現場の対応について

問3-1 情報伝達について伺います。以下の機関別にお答えください。

なお、問題があったと回答した方はその理由をご記入ください。

選択項目	国土交通省		群馬県		市町村	
	社数	割合	社数	割合	社数	割合
① 速やかだった	28	100.0%	129	87.8%	97	91.5%
② 問題があった	0	0.0%	18	12.2%	9	8.5%
計	28	100.0%	147	100.0%	106	100.0%
③ 該当なし	197	—	78	—	119	—



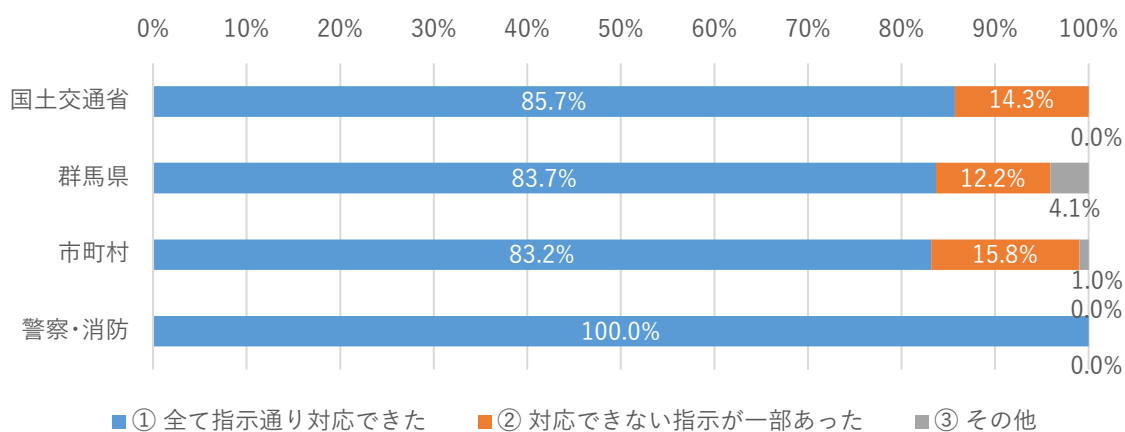
ほぼスムーズに情報は伝達されていたが、一部で問題があったと指摘もあった。

主な意見（群馬県分を抜粋：意見は P9 参照）

- ・ 指示された場所が違い、右往左往した。
- ・ 場所によりネットが繋がらない。行政が状況をよく把握していない。
- ・ 24 時間規制のほか、所内の命令系統について、二転三転して対応が長引いたことがあった。一方で、フレキシブルな対応に協力していただいていた面もあった。
- ・ 待機の指示を FAX だけでなく、電話連絡もお願いしたい。
- ・ 避難指示が出ている河川のその場所での待機が長く命の危険を感じた。

問3-2 現場作業の指示内容について伺います。指示通り対応できたかどうかを以下の機関別にお答えください。なお、対応できない指示があった方はその理由をご記入ください。

選択項目	国土交通省		群馬県		市町村		警察・消防	
	社数	割合	社数	割合	社数	割合	社数	割合
① 全て指示通り対応できた	18	85.7%	123	83.7%	84	83.2%	17	100.0%
② 対応できない指示が一部あった	3	14.3%	18	12.2%	16	15.8%	0	0.0%
③ その他	0	0.0%	6	4.1%	1	1.0%	0	0.0%
計	21	100.0%	147	100.0%	101	100.0%	17	100.0%
④ 該当なし	204	—	78	—	124	—	208	—



どの機関も全て指示通り対応できたと回答した企業が多いが、以下の意見のようにいくつかは対応できない指示もあった。

主な意見（意見は P10 参照）

国土交通省

- ・ 復旧個所が膨大であり、すべて指示どおりとはできなかった。

群馬県

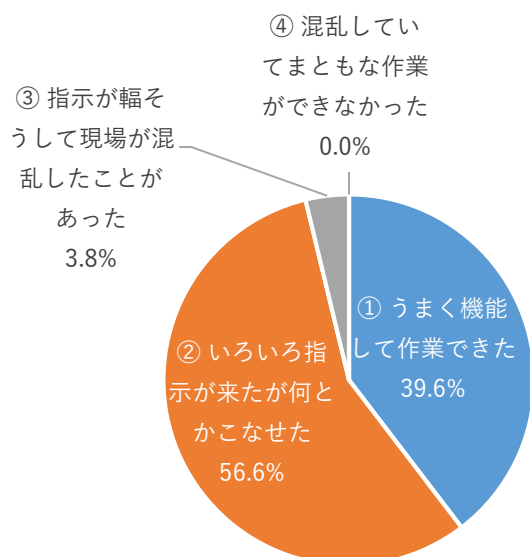
- ・ 道路が冠水していた為 パトロールする事が出来ず、危険な個所もあった。
- ・ 河川氾濫箇所での待機指示が長く、社員の命を最優先にして避難させた。
- ・ 少人数での復旧作業であり時間は掛かってしまったが、指示通りの対応はできた。
- ・ 倒木処理（東電、NTTによる対応のため）。
- ・ 指示系統が統一されていないため優先順位の判断が難しい時があった。

市町村

- ・ 土砂流木ゴミ等の搬出先の確保に時間を要した。
- ・ 協定外の要求がある。
- ・ 住民説明会等住民対応の場に出席を要請され、住民の方々の要望にすべて答えられず苦しかった。

問3-3 災害協定に関して伺います。国、県、市町村における活動は協定に基づいて行っていますが、それぞれの機関及び警察・消防等から同時に作業の指示があった場合の対応についてお答えください。

選択項目	社数	割合
① うまく機能して作業できた	42	39.6%
② いろいろ指示が来たが何とかこなせた	60	56.6%
③ 指示が輻そうして現場が混乱したことがあった	4	3.8%
④ 混乱していてまともな作業ができなかった	0	0.0%
計	106	100.0%
⑤ 該当なし（複数の協定締結がない）	119	-



混乱していてまともな作業ができなかったと答えた企業はなく、多少の混乱はあったが全てにおいて対応をしていたことが分かった。

主な意見（意見は P11 参照）

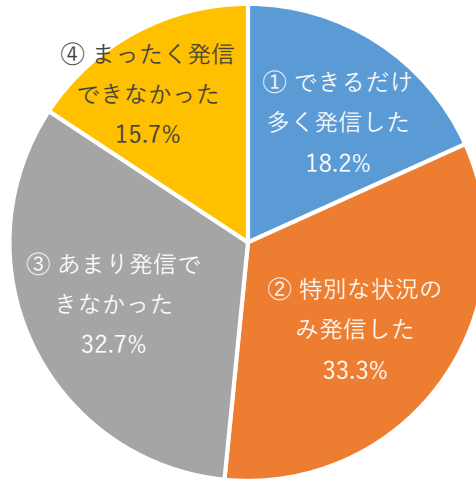
- ・ 県と市の災害場所毎に班編成し、それぞれに責任者を置き数か所を処置しながら対応できた。
- ・ 県及び市町村からの指示のみであったので対応できました。警察や消防からの指示があった場合には、人的資源の問題で対応が困難になる可能性があります。
- ・ 国からの要請もあったが県からの指示を優先して作業した。
- ・ 緊急時対応連絡網が機能した（協力業者対応）。

4. ツイッター（ぐんケン見張るくん）について

問4-1 台風第19号の接近・上陸時の貴社からの災害情報発信について伺います。
以下から選択し④の場合はその理由をご記入ください。

選択項目	社数	割合
① できるだけ多く発信した	29	18.2%
② 特別な状況のみ発信した	53	33.3%
③ あまり発信できなかった	52	32.7%
④ まったく発信できなかった	25	15.7%
計	159	99.9%
⑤ 該当なし	66	—

※割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計の表記が必ずしも100.0%とはなりません。



現場の状況により発信の度合いは変わってくるが、現場作業に追われて余裕がなく、発信できなかったと回答した会社も多かった。

発信できなかった主な意見（意見は P12 参照）

- ・ 作業に追われ余裕がなかった。
- ・ 担当者が、社内で県や作業班からの情報処理及び連絡を取り合っていたため。
- ・ 発生個所に携帯の電波が無かった。
- ・ 弊社担当路線・河川では発信するような災害はなかった

問4-2 今回のツイッター発信によってフォロワー数が大幅にアップし、県民から感謝の言葉が寄せられています。こうした反響についてご意見をご記入ください。

主な意見（意見は P12 参照）

- ・ 地域の守り手としての活動がわかってもらえて良いことだと思う。
- ・ とてもよい事と思います。建設業のPRになり、イメージアップや雇用の材料になるよう、継続して頂きたいです。
- ・ 普通、災害の対応はどうしても警察・消防・自衛隊等ばかりが取り上げられ、建設業者は影の存在になります。そんな中、このような取り組みは建設業者にとって、非常にやりがいを感じられて良いと思います。
- ・ テレビでは近隣の様子がわからないが、県内のツイッターならばわかりやすいのではないのでしょうか。
- ・ ぐんケン見張るくんをもっと知って頂く為に、県、市町村上げて、アピールして欲しい。

5. 記述意見一覧

問1-2 人員の確保に関する問題点やご意見をご記入ください

【通常工事現場対応】

- ・ 不足した理由は担当工事の復旧作業もあったため。その他災害のため人員が不足した。
- ・ 台風の襲来時期が通常10月に集中するので、災害対応に人員を割くと、通常の工事が進捗せず工期が間に合わなくなるため、短期はともかく長期の災害対応をするためには通常工事の工期等を含めての対応が必要かと考えます。

【連絡体制と復旧作業の優先度】

- ・ 災害発生時の応急人員確保は、行政主導で既発注工事にて対応することが必要。
- ・ 所轄の土木事務所から河川の被害状況の確認依頼が来たが、パトロール担当者1名だと事故等万が一の場合、連絡ができず不測の事態が発生する可能性がある。そのため2名体制をとったが広範囲のパトロールであるため人員確保に苦労した。

【作業員の手配】

- ・ 土曜日の夜間であった上に、各所で道路冠水等があったため、作業員の到着までに時間がかかった。
- ・ 日時によっては建設機械の運転手は出動出来ても大型特殊車両、大型車の運転手が出動（確保）できない場合がある。
- ・ 拘束時間が長すぎたため、24時間勤務になってしまった。日ごろから交代要員も確保しないといけない事がわかった。
- ・ 普段の受注が安定していないため人員の確保が難しい。
- ・ 求人しても問い合わせや、面接希望も無い。作業員の高齢化で、緊急対応が難しい状況になる。
- ・ 人員確保のためにも、労務単価の見直しをしていただきたい。絶対数確保のためには、協力会社に依頼をしてでも請負工事を優先する必要がある。
- ・ 若年者がいない。若年層が建設業に魅力を感じていないため。

【交通誘導員の手配】

- ・ 交通誘導員は、絶対数が不足していると思うので、その改善が急務だと思います。
- ・ どの程度の人数を待機させておけばいいのか、待機させておいて何もなかった場合の費用負担をどうするべきか。今回は深夜の被災だったため、誘導員の手配ができなかった。
- ・ 大雨の中、自宅より出社できなかった人が多かった。また交通誘導員については、急に手配してもだめな為、自社の作業員で対応した。
- ・ 交通誘導員は普通作業員で対応した。
- ・ 県と警備会社とで緊急時の協定を結んではどうでしょうか。

問2-2 資機材の確保に関する問題点やご意見をご記入ください。

【自社保有資機材での対応(充足意見)】

- ・ 自社保有の重機及びオペレーターで何とか対応できたが、他の業者をお願いする事になっていたら、かなり苦労したと思う。
- ・ 資機材においても、人員同様用意はできるが災害の規模によっても異なるし、また、未使用の期間が続く場合はどうするべきか。
- ・ BCP 登録してあり対応できる資材は確保してあるが、国交省、群馬県、太田市及び各団体の要請が集中した場合は対応しきれない。
- ・ 資機材が確保できても作業員がいません。

【自社保有資機材での対応(不足意見)】

- ・ 重機がやや不足した。
- ・ 重機を使用する作業は無かったが、夜間の緊急時に保有していない資機材の確保は難しい。
- ・ 通行止めの場合自社所有の看板・バリケード等を設置したが、通行止め箇所が多くなると対応が難しい。

【運搬経路確保】

- ・ 運搬経路の道路冠水等により、時間がかかった
- ・ 資材は事前にストックしていたが、運搬路の確保が出来なかった為、重機は台数不足となった。

【備蓄関係】

- ・ 災害を見越して、コーンや誘導灯なども含んだ資材等の準備を市役所や土木事務所等で備蓄しておいて欲しい。
- ・ 協会が業者と提携を組んだので、必要数の確保は楽になったと思う。
- ・ 各支部や企業にてある程度の備蓄が必要と思われます。
- ・ 資材は備蓄したとしても、品質劣化によるロスを考慮すると難しい面がある。

【行政からの指示、リース・購入等での対応】

- ・ 国、県、市町村から現場指示が出るのだから、同時に資材調達先の指示もして頂けたらと思う。
- ・ 集中的な災害対応の場合、重機・仮設材の市場総量が限られているので難しい
- ・ 災害時のリースについても、市内に拠点がないほか、時間外や休日では窓口が開いていないこともある。

問3-1 情報伝達に関する意見

国土交通省の対応指示に関する意見

- ・ 国土交通省では、緊急災害対応から通常災害対応まで、切れ目なく指示が続き、復旧工事へと継続している。

群馬県の対応指示に関する意見（主に問題点）

【連絡時間・指示内容等】

- ・ 22:00 以降に届いた FAX の内容が、明日の 10:00 までにパトロールした結果を報告するように。もっと、早く連絡が欲しかったです。市役所からの依頼に集中して、体制を整えていました。なんとか 10:00 までにはパトロールをし、結果を報告しましたが、夕方までに 4 回もパトロール結果報告の確認電話が来ました。内部同士の連絡調整を行って欲しいです。
- ・ 場所によりインターネットが繋がらない。行政が状況をよく把握していない。
- ・ 対応指示はあるものの、対応の解除（どこまで対応すれば終了）に対する指示が曖昧になっていた。
- ・ 復旧個所の方法についても相談に乗って頂いたので、比較的効率良く復旧に取り掛かれた。人員の少ない業者の役割分担による効率的対応を図って頂いた。

【伝達方法】

- ・ 待機の指示を FAX だけでなく、電話連絡もお願いしたい。
- ・ 会社の場所自体が避難区域内になってしまい、（本社事務所が不在になると）FAX のやり取りには限界がある。
- ・ 県の担当が一斉に業者に連絡できるシステムがあると良い

【人員確保・自治体間の連絡体制】

- ・ 優先的に災害復旧してもらいたいのはわかるが、少人数での災害対応なので対応しきれない。できれば県市町村が一体になって復旧優先順位を決めてもらいたい。

【現場の危険度】

- ・ 夜間での道路冠水があったが、交通量の多い道路だったので、業者だけでは規制ができないと回答した。
- ・ 避難指示が出ている河川のその場所での待機が長く命の危険を感じた

市町村の対応指示に関する意見（主に問題点）

- ・ 協定外の要求がある。
- ・ 全面通行止めになってから住民の避難所への道路確保の要請（土木事務所より）があったが、小さな沢からも土石流が発生して危険な状態だった。
- ・ 依頼が遅く、すでに別途対応中に「即時対応」を求められたため対応ができなかった。

問 3 - 2 現場指示とその対応に関する意見

対応できなかった指示（国土交通省）

- ・ 県市町村の災害復旧が優先になってしまい、対応に時間が掛かってしまったが、指示通りの対応ができた。
- ・ 河川の堆積土砂撤去
- ・ 復旧個所が膨大であり、すべて指示どおりとはできなかった。

対応できなかった指示（群馬県）

【時間・危険度】

- ・ 道路が冠水していた為 パトロールする事が出来ず、危険な個所もあった。
- ・ 河川氾濫箇所での待機指示が長く、社員の命を最優先にして避難させた。

【被災範囲・資機材人員確保】

- ・ 人員の問題で当社担当路線以外（他社の担当路線）での依頼に対応できなかった。
- ・ 現道の 24 時間規制時の案内人員について、人員不足に伴い、夜間は協議の上省略させていただいた。おかげで翌日 2 人工の労務を確保することができた。
- ・ 資機材の準備不足のため（通行止め等の保安施設の不足）。

【他の要因】

- ・ 倒木処理（東電、NTTによる対応のため）。
- ・ 土砂流木ゴミ等の搬出先の確保に時間を要した。
- ・ 通行止め・迂回路の処置を行ったが、迂回道路の地主という方が車両の通行を止めたために、別の道路への迂回処置を行った為二度手間になった。今後の検討が必要かも。

【情報伝達・指示内容】

- ・ 指示系統が統一されていないため優先順位の判断が難しい時があった。
- ・ 現場を見てもらえていないため、電話のみのやり取りで上手く対応できなかった部分があった。
- ・ 協議により対応順序を決めて行った

対応できなかった指示（市町村）

【被災範囲・資機材人員確保】

- ・ 要請があったが、人数が不足していたため出勤できない日があった。

【他の要因】

- ・ 残土処分箇所について、当初予定していた搬出箇所を何度も変更され、その度に車両変更や人員配置の転換をせざるを得なくなり、作業に支障が出た。
- ・ 土砂流木ゴミ等の搬出先の確保に時間を要した。
- ・ 住民説明会等住民対応の場に出席を要請され、住民の方々の要望にすべて答えられず苦しかった。

【情報伝達・指示内容】

- ・ 依頼が遅かったほか、「即時対応」を求められたため、「現状対応中」の旨を伝達したところ、市役所直轄での作業となった。

対応できなかった指示（警察・消防）＝なし

問 3 - 3 国、県、市町村における協定の同時の作業依頼時の対応の意見

【複数の行政機関からの指示】

- ・ 県と市の災害場所毎に班編成し、それぞれに責任者を置き処置しながら対応できた。

- ・ 消防団と土木事務所の情報でどちらが新しい情報かはっきりしない時があった。
- ・ 国からの要請もあったが県からの指示を優先して作業した。
- ・ 各発注者と協議の結果優先順位（災害の深刻度）を決めて作業をした。

【行政からの指示・協議】

- ・ 誘導員がいなく夜間作業の時は県職員・警察と連絡をとり誘導等を行っていただいた。
- ・ 担当職員がすぐに現場に来てくれたので、現場での打合せが出来た。

【自社・協力会社における作業体制】

- ・ 緊急時対応連絡網が機能した（協力業者対応）。
- ・ 早朝・夜間・休日出勤を厭わず出勤してくれた社員、協力会社の皆さんにより限られた人員で可能な限りの対応をした。
- ・ 管内一円を担当しているので対応出来たのだと思います。
- ・ 直営班が数班いるので適切な配置が出来た。

【パトロール・小規模対応・単一協定のみ等】

- ・ 市、県と協定締結しているが、市からは具体的な要請が無く、県からのパトロール要請を実施したのみである。
- ・ 台風のさなかではなく、その後の対応の指示だったので十分にできました。

問4-1 ぐんケン見張るくんでの発信ができなかった理由

【復旧現場での対応と状況】

- ・ 作業に追われ余裕がなかった。

【人員関係】

- ・ 担当者の体調不良のため。
- ・ 担当者が、社内で県や作業班からの情報処理及び連絡を取り合っていたため。

通信環境

- ・ 該当路線・災害対応箇所の電波が弱いもしくは電波がない。

【災害の程度】

- ・ 弊社担当路線・河川では発信するような災害はなかった。

【その他】

- ・ 通常の情報伝達で間に合っています。
- ・ 台風通過後に時間差で腐食した木が倒れた処理の為、発信しませんでした

問4-2 今回のツイッター発信によってフォロワー数が大幅にアップし、県民から感謝の言葉が寄せられています。こうした反響についてご意見をご記入ください。

【建設業の必要性の広報手段として】

- ・ 地域の守り手としての活動がわかってもらえて良いことだと思う。

- ・ とてもよい事と思います。建設業のPRになり、イメージアップや雇用の材料になるよう、継続して頂きたいです。
- ・ 昼夜を問わず県民市民の命を守っているのが地元の建設協会であることを多くの方に知ってもらいたい。
- ・ 業界が必要であることが普及されれば、様々な面でプラス要因になると思います。

【災害情報の発信手段として】

- ・ 今後はSNSを使った発信が有効だと思います。
- ・ IT情報社会において、非常に重要視するべきものと思う。災害発生翌日からドローンを飛ばし、被害状況が速やかに把握できた。
- ・ テレビでは近隣の様子がわからないが、県内のツイッターならばわかりやすいのではないのでしょうか。
- ・ 情報が多いと県民も行動が早く出来るので良いことだと思います。
- ・ 県内それぞれの地域での情報収集が出来るのは、「ぐんケン見張るくん」だけだと思います。今後も会員各社が積極的に情報の発信をすることが県民の安全。安心に繋がると思います。
- ・ 通信回線異常となった場合に不安を感じる。
- ・ 一般の人たちの方がいち早く発信出来ると思うので特別なことではない。河川（水位等）、道路等の情報を優先すべき。

【会員からの情報の投稿とやりがい】

- ・ 県民の皆さんが少しでも情報が把握でき安全行動が取れるよう役立てると思いますのでこれからも感謝の意に少しでもこたえられるよう頑張っ続けていけたらと思います。
- ・ 県民からの関心が高まり、若手入職者の増加に繋がればいいと思います。
- ・ 普通、災害の対応はどうしても警察・消防・自衛隊等ばかりが取り上げられ、建設業者は影の存在になります。そんな中、このような取り組みは建設業者にとって、非常にやりがいが感じられて良いと思います。

【ぐんケン見張るくんのシステム・投稿内容等について】

- ・ 送る側としては「誰に見てもらいたい情報なのか」によって添付する文章が変わってくるのではないかと思います。
- ・ もっとシンプルに送信できるよう改善してもらいたい例：パトロール箇所が決まっているのでNO.1等決めてもらいクリックするだけで場所が出るなどしてもらえると入力素早く完了できると思う
- ・ 情報の発信はよいと思うが夜間や電波が悪い地区等での発信が難しい。
- ・ ぐんケン見張るくんの地図のほうも更新してほしい。

【その他】

- ・ 感謝の言葉はやりがいを感じさせますが、工事の苦情等で県民からおしかりを受ける

こともあるので、良し悪しだと思う。

- ・ 災害の状況報告や復旧作業の様子を伝えることで業界への理解、イメージアップにつながり良いと思います。が、警察や消防と違い何の保証もない中パトロールや危険を伴う作業に従事することは怖くもあります。
- ・ 業界を維持していくためにもっと仕事を発注してほしい
- ・ ぐんケン見張るくんをもっと知って頂く為に、県、市町村上げて、アピールして欲しい。